

No.	9	
学区	該当学区なし	
主な相手先	古都おおつ観光ボランティアガイドの会	
日時	2019年7月11日(木曜)	
概要	<p>①大津市内で好きな場所、守っていききたい伝統的な行事や活動の共有</p> <p>【社寺】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○延暦寺 ○横川地区 ○日吉大社の参道、馬場 ○日吉大社の神輿倉庫 ○西教寺 ○来迎寺の本堂内 ○園城寺 ○新羅善神堂 ○近江神宮 ○勸学館：カルタの会場 ○平野神社 ○石山寺 <p>【史跡や近代化遺産など】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小野地区の古墳群 ○百間堤 ○穴太衆積み ○大津宮 ○千石岩 ○琵琶湖疏水 ○大津トンネル ○大津宿場町 ○東海道と北国海道 ○瀬田唐橋 ○瀬田川洗堰、南郷洗堰 ○近江国庁跡関連遺跡 ○オランダ堰堤 ○城跡（坂本、大津、膳所） ○常夜燈、灯台 ○峠の地蔵、大仏 ○磨崖仏 	

【景観や町並み、歴史的建造物】

- 湖岸から見る山並み
- 堅田
- 小野、和邇
- 堅田漁港
- 中央公会堂

【社寺で行われる祭礼や行事】

- 小野神社のしとき祭：お菓子の神様、全国唯一のお菓子の祭でお供え物として「しとき」をつくる
- 日吉大社の山王祭
- 山王祭の午の神事、下の階
- 下阪本のおこぼ祭
- 唐崎神社のみたらし祭
- 近江神宮のカルタ
- 近江神宮の流鏝馬
- 宇佐八幡宮の夜祭
- 長等の蛇降し
- 比良八講（大津百町）：大津百町にお堂があり、そこで行われている。毎年2月27日、28日。120年くらい続いている
- 大津祭：屋台、天孫神社、特に宵宮
- 曳山展示館
- 蟬丸神社下社の芸能祭
- 石山寺の御開帳

【伝統文化や商業活動】

- 堅田の落雁店
- 堅田の波の音酒造の地酒：新しく建て替えたが、古い建物も残っている
- 大津の酒
- 八百与：漬物店
- 大津絵の店
- 膳所焼

【琵琶湖に関する活動など】

- 丸木船
- えり漁
- ヨシ刈り
- 近江舞子水泳場、マリンスポーツ
- サンライズカヤック
- 琵琶湖に来る渡り鳥

【その他の祭やイベント】

- 堅田湖族まつり：昭和 30 年代後半からなので、50 年くらい続いている
- 大津大花火大会

【食文化】

- 湖魚の食文化
- 川魚の煮付け：北小松
- 坂本の食用菊、山椒、蜂の子を食べる

【その他】

- 依藤太の伝説
- （※高島市）白鬚神社の鳥居

②大津の歴史文化を巡る観光の現状と課題

【大津市の観光の強み】

- 豊富な文化財がある
- 古代から近世までの歴史がある

【アクセス、施設同士のネットワークについて】

- JR大津駅と京阪びわ湖浜大津駅が離れている事が問題
- 大津駅が市内への交通拠点、観光の拠点になっていない
- 大津駅から石山寺、三井寺、坂本に直接行けるアクセスがない
- 観光施設が点在し、線状に結ばれていない

【歴史的建造物や社寺について】

- 史跡周りの管理が必要。宅地化されるケースが多い
- 寺社への支援：公開が困難
- 坂本城、大津城、膳所城を案内しても城がない
- 宿場町に本陣の建物が残っていない
- リピーターを増やす必要がある：日吉大社のアジサイや菖蒲など
- 市営観光施設（旧竹林院等）を無料化したらどうか

【便益施設、都市基盤について】

- トイレの整備が必要
- 公衆トイレや休憩スペースが少ない
- 大型バス用の駐車場が不足している
- 観光施設の駐車場を近隣住民が占領している場合がある
- 観光施設（石山寺など）の駐車場が不足している
- 大津宮跡の歩道がない
- まち歩きをする時に歩道の確保が必要
- 坂本城址公園前の横断歩道は信号がない

【情報発信について】

- 案内情報不足
- 地域からの問い合わせ窓口が課題
- 案内板の更新が必要
- 案内板の文字が消えている
- ウォーキングの案内版の設置が必要
- パンフレットを渡さない案内所がある
- 告知不足
- ルート案内の標識が少ない
- 歴史の標識が一部地区に限られており、少ない
- JRの待ち受けパネルに予約不要、無料の表示が必要
- マップに風景や山の名前を入れた方が良い
- ライトアップの告知、情報提供が少ない
- ライトアップの告知情報
- 大津市民が大津市の歴史の事を余り知らない

【飲食や物販について】

- ショップ（特に飲食）が不足している
- 美味しい食事ができる場所が少ない
- 食が弱い
- 土産になる商品が少ない
- 店（土産物店など）との連携が必要

【歴史的資源の観光について】

- 雨天時のツアーがない
- ナイトツアーがない
- 時間をかけて滞在できない

【外国人観光客への対応について】

- インバウンドへの対応が弱い
- 英語でガイドしてくれる所が少ない
- 案内標識に英語が不足している
- 外国語表示の拡大が必要

【ボランティアガイドについて】

- ボランティアガイドは女性が少ない
- ガイド希望者が少ない。最近では定年延長の影響もある
- ガイドの養成講座はやっているが、あまり集まらない
- ボランティアガイドの会の運営費用はガイド個人が負担している

【観光行政について】

- 市の観光行政がバラバラ
- 各地域にある観光協会との連携がうまくとれていない

○観光協会が地域ごとにある：各地域でその地域を大事にしているのは良い事だが、地域同士の連携が弱く、観光客がどこに問い合わせが良いのかも分かりにくい

③伝統的な活動や歴史的建造物を守るために必要なことやそのアイデア

【歴史的建造物、社寺の保全、活用】

- 特定の寺社への改修支援はできないか
- 寺社への補助金の検討
- 蟬丸神社社殿の改修を行う必要がある
- 障がい者に優しい観光地づくり（車椅子のまま観光できる）：最近の車椅子は軽くて、砂利の所も走りやすいものがある
- 各施設に隣接してショップを設ける

【歴史的資源同士のネットワークづくり】

- 神社や寺同士が連携しても、その間の足が不十分なので交通機関とも連携が必要。社寺と交通機関をまとめるのは行政の役割が重要ではないか
- 交通機関（JR、京阪、市内全域のバス会社）とのタイアップ
- ぐるりんバスのようなものが必要
- どの駅を中心に観光したら交通網が便利かを考える必要がある

【大津市内外への積極的な情報発信】

- 見やすいホームページの作成
- 魅力的なPV（プロモーションビデオ）を作成する
- インバウンドよりも国内の人向けのPR。京都などでは観光公害が問題になっているので今こそチャンス
- キャラクターをもっとアピールする
- ファンクラブをつくる
- 地元への啓発
- 子どもへの教育、啓発
- 地域住民の関心度をアップさせる

【来訪者が体験したり、歴史に触れる仕組みづくり】

- 大津祭で一般の人でも2階の棧敷席から見られると良い
- 体験ワークショップの開催
- 唐橋などその場所ならではの、昔の人やおおつ光ルくとツーショットで自撮りができる様なもの
- 歴史的に重要な建物で今無いものはCGで再現する
- ボランティアガイド人材確保のための体験型ガイドオリエンテーションの実施
- 遠野市のような語り部の養成

【歴史的資源などを活用したPR】

- 日吉大社などの寺社で季節の花をPRし、リピーターを増やす

- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">○新羅善神堂の近くにウラシマソウ、瀬田公園にはサギソウの滋賀県有数の群生地など、珍しい植物があるので保護してPRできないか○大津名物を創造する○クラウドファンディングを活用する <p>【大津市の観光、歴史まちづくりについて】</p> <ul style="list-style-type: none">○近距離から来る人、中距離から来る人、遠距離から来る人それぞれの目的を考えて案内する必要がある○県、市等の行政機関の横の連携による歴史的風致の一般化が必要。首長の認識が重要である |
|--|--|